



electronica & Productronica China 2010 ファイナルレポート

第 9 回 国際電子部品・製造機器専門見本市
2010 年 3 月 16 日～18 日
中国・上海新国際見本市会場

2010 年 3 月

Summary

- 出展社数、来場者数、出展スペースのすべてが過去最高に！
⇒来場者数 32,125 人⇒前回は 14%増
⇒出展スペースは前回のおよそ 2 倍
⇒出展社数は 380 社
- フォーラム・会議・シンポジウムでは 100 ものプログラムが開催され、2,500 人以上が参加



Facts & Data

会 期	2010 年 3 月 16 日(火)～18 日(木) 午前 9 時～午後 5 時(最終日のみ午後 4 時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場
主 催	Messe München International Munich Trade Fair (Shanghai) Co., Ltd.
規 模	20,000 m ² (2009 年: 11,500 m ²)
出 展 企 業	16ヶ国より 380 社 (2009 年 17ヶ国 307 社)
来 場 者 総 数	32,125 人 (2009 年 28,165 人)
主 な 出 展 品	<electronicaChina with PCIM> 半導体全般、パワー半導体部品、エンベデッドシステム、センサー、MEMS、リレー、スイッチ、配線技術、受動部品、モーター、駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、マイクロ波技術、ディスプレイ、パワーサプライ <ProductronicaChina> 材料加工、部品製造、回路基材装置製造、ケーブル加工技術、はんだ付け技術、アセンブリ・モジュール・ハイブリッド用物流管理・装置製造、半製品・完成品用検査・測定技術、各種オペレーティング機器、製造サブシステム、関連サービス
出展日本企業 (現法出展など含む)	アクトファイブ(株)、アポロ精工(株)、(株)エヌエー、(株)オートメレビュー社、オムロン(株)、加賀電子(株)、黒田精工(株)、国際電業(株)、(株)小寺電子製作所、CC-Link 協会、(株)シマデン、新光電子(株)、新明和工業(株)、(株)スリーボンド、THK(株)、(株)ナックコーポレーション、日本アルミット(株)、日本オートマチックマシン(株)、白光(株)、パナソニック電工(株)、(株)マコメ研究所、ヤマト(株) (50 音順)
専 用 U R L	e-p-china.com (英語) www.e-p-china.com.cn (中国語)

2010年3月16日から3日間に渡り、中国・上海新国際見本市会場で開催された electronica & Productronica China 2010は、来場者数、出展社数、出展スペースにおいて新たな記録を残して成功裏に終了した。前回出展スペースのほぼ2倍の20,000㎡に、中国国内外からの380社が、最新の電子部品や製造技術を紹介した。来場者数は過去最高の32,125人にのぼり、これによって electronica & Productronica China が中国エレクトロニクス市場にとってますます重要視されていることが言える。出展エリアは、電子部品、IC、ケーブル加工から表面実装機器と、業界の重点分野をカバー。出展社も業界をリードするグローバル企業だけでなく、急成長中の中国企業も数多く名を連ねた。

パナソニック電工(中国)の相原厚氏は、「electronica & Productronica China は、日本の同業界見本市よりも規模が大きく、また来場者数も多いので、非常に満足している」と話している。また、Infineon 社の Stephan Zizala 氏は、「とても多くの方に来場いただき、出展の効果は高かった。技術エンジニアと意思決定者の両者に来場して頂いたことで、有意義な商談につながった」と来場者の質の高さを評価している。

Tyco Electronics 社は「Innovation Forum」に積極的に参加し、大きな成果を得たという。同社の Thomas W.M She 氏は、「当社では、中国のエンジニアと直接交流できるよう、ドイツから専門スタッフを呼び講演を行った。この見本市は当社にとって、ターゲットとなる市場にアプローチするための最適なプラットフォームだ」と説明している。

併催イベント - 会議・シンポジウム・フォーラム

多くの人が行き来する展示フロアの横では、9つの Innovation Forum・会議・シンポジウムプログラムが開催され、カーエレクトロニクス、パワーエレクトロニクス、受動部品、ケーブル加工、電子部品製造、LED など、業界注目の議題や傾向についての講演やプレゼンテーションが行われた。100ほどのプログラムには2,598人が参加した。



2日間に渡って開催された「International Conference on Advanced Automotive Electronics Technology」には、FAW 社、SAIC 社、DONGFENG 社、Infineon 社、Tyco Electronics 社、Bosch 社、Continental 社の専門家が、カーエレクトロニクス、駆動系システムそして安全性についての最新の開発発表を行った。

また、「Symposium on Future Developments and Applications of Power Electronics Technology」では省エネと環境保護、そして電力変換や再生可能エネルギーといったテーマに焦点が当てられた。復旦大学、中国電源学会、同濟大学、Vishay 社、Infineon 社の科学者と業界専門家が討論を行い、中国における低炭素経済の理解を共有した。

LED 関連のフォーラム、「Shanghai LED Lighting Innovation and Application Forum」と「LED Technology Forum」では、LED 業界の方針発展や優先的政策、最新技術について発表された。

electronica & Productronica China は Shanghai International IT and Electronics Fair (SIIEF)の傘下で、LASER World of PHOTONICS CHINA、SEMICON China、そして CPCA Show と併催している。

次回は2011年3月15日～17日に中国・上海新国際見本市会場で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ e-p-china.com まで。

資料請求、出展申込み、入場券購入、各種お問い合わせ先：
メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KSビル 5F 在日ドイツ商工会議所内
Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.com (英語 / ドイツ語)

